

別紙

温室効果ガス排出削減計画

氏名	(法人にあっては名称) 株式会社クラレ		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒100-8115 東京都千代田区大手町1-1-3 大手センタービル	
本票作成	部署名：技術本部 動力統括部				
主たる業種	分類コード	16	業種名：化学工業		
事業の概要	合成樹脂、合成繊維等の製造 従業員：2,013人 (岡山事業所：917人、倉敷事業所：678人、鶴海事業所：298人、くらしき研究センター：120人)				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	岡山事業所		岡山市南区海岸通1丁目2番1号	
	②	倉敷事業所		倉敷市玉島乙島7471番地	
	③	鶴海事業所		備前市鶴海4342番地	
	④	くらしき研究センター		倉敷市酒津2045番地1	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input checked="" type="checkbox"/> ③CO <sub>2</sub> 換算3,000t以上 (●工場等の数 4 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				

計画期間	平成 29 年度 ~ 平成 31 年度 ( 3 箇年度)									
削減目標	いずれかを選択	<input checked="" type="checkbox"/> 総排出量基準	目標削減率 3.0 %	目標区分	20%以上	20~15%	15~10%	10~5%	5%未満	○
		<input type="checkbox"/> 原単位基準								
温室効果ガス排出量	基準年度 (平成 28 年度)					目標年度 (平成 31 年度)				
	753,815 t CO <sub>2</sub>					731,201 t CO <sub>2</sub>				
基準年度の主な工場等の排出量	番号	工場等の名称			基準年度 (平成 28 年度) の排出量					
	①	岡山事業所			631,749 t CO <sub>2</sub>					
	②	倉敷事業所			94,128 t CO <sub>2</sub>					
	③	鶴海事業所			25,074 t CO <sub>2</sub>					
	④	くらしき研究センター			2,864 t CO <sub>2</sub>					
					t CO <sub>2</sub>					

※ 「計画期間」欄には、5箇年度以内で特定事業者が定める期間を記入する。

(原単位基準の削減目標を選択した場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容		原単位当たり排出量	
			基準年度	目標年度
			CO <sub>2</sub> / ( )	CO <sub>2</sub> / ( )

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値 (平成 28 年度)	達成率 (%)
指標の状況				

【目標削減率設定の基本的な考え方】

温室効果ガス排出量を平成28年度をベースに年1%削減し、平成29年度~31年度の3年間で平成28年度の排出量の3%に相当する量を削減する。

**【目標削減率達成のための推進体制】**

事業所長をトップとする環境管理組織で環境改善活動に取り組んでおり、この中で、GHG削減計画に関してはCO<sub>2</sub>削減専門部会が削減活動の企画、管理を行い、GHG削減活動を推進している。

**【排出量削減のためのこれまでの主な取組】**

工場等の名称	取組内容
岡山事業所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ビニロン502列ヒートポンプシステム導入による蒸気量削減</li> <li>・ポパール（VAc工程）V-1Tに抽出塔の設置による蒸気量削減</li> <li>・クラフレックス600・700列水流銘柄脱水強化による蒸気量削減</li> </ul>
倉敷事業所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボイラーへのバイオマス燃料拡大</li> <li>・フィルム屑外部処理品のボイラー燃料化</li> <li>・B水ポンプ適正化による電力削減</li> </ul>

**【計画期間中に目標削減率を達成するために実施する措置】**

工場等の名称	措置内容
岡山事業所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ビニロン503列ヒートポンプシステム導入による蒸気量削減</li> <li>・エパール E-3T共沸液の再利用による蒸気量削減</li> <li>・R S 4104銘柄P A C塔M e O Hフィード適正化による蒸気量削減</li> </ul>
倉敷事業所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボイラーへのバイオマス燃料拡大</li> <li>・フィルム屑外部処理品のボイラー燃料化</li> <li>・ターボ冷凍機冷却水ポンプ適正化による電力削減</li> </ul>
鶴海事業所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・精製乾燥工程の脱水機改善・乾燥機変更による乾燥効率改善（灯油削減）</li> <li>・賦活工程時に発生する回収熱の内、未回収熱を活用した自家発電</li> </ul>

**【森林保全等吸収源対策への取組計画】**

県内での取組	有	岡山事業所で岡山県の『企業との協働の森づくり事業』に参画し、吉備中央町と森林保全協定を締結している。現在年間10回程度の森林整備（面積0.65ha、CO <sub>2</sub> 吸収量6.17t-CO <sub>2</sub> /年）活動を行っている。
その他	無	

**【再生可能エネルギーの導入計画】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【その他特記事項】**

岡山県のアースキーパーメンバーシップに全従業員が登録し、各人が目標を設定することで、GHG削減、省エネの啓蒙を行っている。  
平成29年1月1日より、クラレケミカル株式会社を吸収合併し、株式会社クラレ鶴海事業所としたため、計画を変更した。（鶴海事業所の基準年度のCO<sub>2</sub>排出量は、平成28年4月～12月のケミカル分と平成29年1月～3月のクラレ分の合算値としている）